総会発言

宣伝、学習会、忘年会など賑やかに

東京・六郷の会　坂本　雄幸さん

私たちが活動している街は東京の南のはずれにあります。多摩川をはさんで向かい側は神奈川県です。その昔、東海道の六郷の渡しがあった近辺で、東六郷、南六郷、西六郷、仲六郷の4つの街で構成されています。

この街で現在全国常任世話人の向井初江さんの呼びかけで、消費税をなくす六郷の会結成をめざす呼びかけ人46人が組織され、14年7月に32人が参加して結成されました。それから8年、毎月の宣伝には20人以上が参加し、弁士には8～10人が訴え、写真も撮ってニュースで報告しています。年1回の総会、学習会のほか忘年会、暑気払い、年始お祝い会も。学習会は皆の希望をもとにテーマを決め、約30人集まります。総会へは、100人以上が参加しカンパは4万円以上集まります。「憲法守る会」とも共同するなど、草の根の運動を根付かせています。

若い人向けにホームページ立ち上げ

福島・須賀川の会　丸本孝太郎さん

本年6月に須賀川でなくす会を発足させ、世話人をしています。

なぜ私がなくす会に参加させていただいたかです。33年前に消費税3％で始まりました。その時からなぜ生きていくだけで税金を納めるのか、いいえ税金という罰金を取られる、それが消費税ですよね。憲法25条の生存権に反している違憲の税金。ですから5％に減税ではなく即刻〝廃止〟です。そのためには選挙が大切です。投票率70％になれば消費税はなくなるのではと考えます。

若い人ほど消費税は負担になっている。しかも生活困窮は自己責任だと感じている。そこでホームページを立ち上げ、若い人向けに加入を呼びかけ、沖縄を参考に「何ができるか」検討中です。会員拡大と『ノー消費税』拡大を中心に取り組んでいきます。

市民と野党の共闘を地域から広げよう

兵庫・芦屋の会　木野下　章さん

県の会の常任世話人をしております。芦屋の会は22年前

税金は平和で豊かな暮らしのために
税金は応能負担原則にもとづいて

清家税理士事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道三―十五―十六
☎〇六（六九七一）一一二三

消費税は廃止し、
税金は応能負担にもとづいて

税理士法人 京阪パートナーズ

〒572-0084 大阪府寝屋川市香里南之町二八番二四号 トーカンマンション香里園駅前二一〇号
☎〇七二（八三三）二八一二

税金は平和で豊かな暮らしのために
税金は応能負担原則にもとづいて

大阪総合会計事務所

所長・税理士　竹内　克謹

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋二―二―七
☎〇六（六二〇二）九二五一

中小企業家のための税金相談

神戸共同経理事務所

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五―七―一五―五〇二
☎〇七八（三六一）六〇五一
FAX〇七八（三六一）六九九三

中央会計税理士法人

税理士　山本　匡人

〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋一―一五―七 心斎橋アサノビル三階
☎〇六（六二四五）六三二五
FAX〇六（六二四五）六三二六

にできました。22年間、新婦人や年金者組合の方々の参加もあり、月1回の署名活動を続けてきました。最近は県の事務局長の応援を得て、4人が月1回JR芦屋駅前で行い、最高年齢91歳の方も参加しています。芦屋市は一人当たりの個人住民税が全国トップクラス、株でもうけた人の住民税が増えたりなど市は大幅黒字です。

9月の宣伝では国葬反対と合わせて訴えたところ、「国葬なんかして」といいながら消費税署名もしてくれるなど30分で20人の署名が集まりました。

参院選では野党がこぞって消費税の減税や廃止を公約に掲げました。消費税減税を約束する勢力が政権をとれば国民の暮らしは大きく変わります。市民と野党の共闘を地域から広げ、消費税減税を実現できる政治をつくっていくために草の根の活動を継続してまいります。

会報目標を明確にして増やしていく

富山の会　藤田　政治さん

異次元の金融緩和による円安、急激な物価高騰が家計に悪影響を与えています。宣伝行動では「買い物は割引される閉店間際に行く」「毎月行っていた理髪店は3カ月ごとにした」「先行き真っ暗」など語る人が増えています。消費税減税を求める世論の高まりは明らかですが、自公政権は国民の声を聞かず物価高騰対策として最も効果的な消費税減税・インボイス廃止には背を向けています。

消費税が導入されてから33年、消費税を知らない人達も4割近く。2年前から会員のNさんは、消費税の本質は「輸出大企業への優遇税制」なのだと『ノー消費税』から学びました。「消費税の減税・廃止を」の署名は確信を持って訴えることができるようになった」と。読者のエネルギーはすごい。『ノー消費税』の読者、毎月拡大目標を明確にして増やす運動を広げていきます。

インボイス制度は無効・不要

世話人・税理士　浦野　広明さん

憲法の人権保障の意味は、税に関していえば、税務署に対する国民の権利を規定している点に意味があります。私は税制改革法10条2項により「仕入税額控除は中小企業にとって権利であるから、帳簿や請求書がまったくないとか、よほどのことがない限り控除は認めるべきだ」と強調しています。

岸田首相は「インボイス制度は複数税率の下で適正な課税を

税理士法人総合会計
代表社員・税理士　中村　聡
税理士　金巨　功
税理士　島瀬英幸
税理士　金田充弘
〒754-0002 山口県山口市小郡下郷二一九三―二
☎〇八三（九七三）八三三六

消費税ノー！
税理士法人　第一経営共同経理
代表社員　税理士　田中　芳幸
社員　税理士　荒尾壽味雄
〒861-1305 菊池市北宮三一七―一五
☎〇九六八（二五）一〇三六

CHIHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
世界中のこども　みんなに
平和としあわせを
このいわさきちひろのねがいをこめて、
いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、
心から心へ、ひろがっています。
いわさきちひろ作品普及会

行うために必要」と言っているが、現在、事業者は自ら記帳した帳簿にもとづいて仕入税額控除を算出し申告納税しているので、何ら不都合はありません。インボイス制度は申告納税制度を破壊させる手段のひとつです。インボイス制度は憲法および税制改革法に反し無効です（憲法98条1項）。インボイス制度がなくても仕入税額控除は否認されないという解釈の正当性を得ることが、インボイス無効・不要化へのカギです。

ともに頑張りましょう。

今こそ減税・インボイス中止を迫る時

北海道の会　富堂　保則さん

度重なる物価高騰で中小業者の営業と暮らしはますます厳しさを増しています。今年の3月まではまん延防止・緊急事態措置への飲食店への時短要請に協力金が出ていましたが、4月以降は一切の措置や支援が行われず、自助努力に任されています。飲食店からは「コロナが怖くて店に来てくれない」「光熱費などの値上がりで苦しい」と悲痛な声があがり、建設業などからも資材の高騰、消耗品の値上がりで「これ以上の値上げは厳しい」「私達の声が政治家に届かない事に怒りを感じる」とやりきれない声が語られています。

インボイス制度も「取引先からインボイスのことを言われた」「いつまでにどうやったらいいのか」「メリット、デメリットを知りたい」との質問が寄せられています。周りでは「消費税減税が一番いいのでは」という声が出され情勢の変化を感じています。今こそ声を上げて消費税減税・インボイス中止を迫る時、引き続き奮闘していく決意です。

三人寄れば学び、行動を

高知の会　金子　陽子さん

会はひと月に一回日曜市と24日の各界連の行動に参加し署名宣伝をしています。

「消費税10％大変じゃない？」と話しかけると、「もう苦しくなっとるぜ」の答え。「消費税は5％に下げましょう」と言うと、「ほんまにそうじゃのう」と署名。

「何やってもダメだよ。あがるものは上がるんじゃ」という人のところに近寄って、消費税の本質の話をすると、「そうなのか！」と納得して署名。消費税は何に使われているのかを、分かってもらうように話していくことが大事だと感じています。

各団体や県選出の国会議員事務所を訪問し、県民の生活の苦しいこと、そして消費税を下げてと訴えてきました。

地域の会をつくったけれども、活動しているところが少なくなっています。どの地域の会も活性化していかなきゃいけないと、世話人会の中で話し合っています。

「消費税　憲法変えれば　戦争税」「三人寄れば学び、行動を」これを合言葉に地域の会を広げていこうと思っています。

街が壊されるインボイス中止を

山口の会　岡屋　房枝さん

一昨年の12月に事務局長を引き受けて2年になります。なかなか成果が見えないので大変な苛立ちと焦りを感じています。

遠距離の方が集まるのは大変なので、これからもオンライン参加を進めていきたいと思います。

月一度の宣伝行動には各界連の皆さんの応援も受けて、街頭でのぼりや横断幕を仕立てて、署名やティッシュ配布等を行っています。

「頑張るわね」など励ましがある一方「減税したら日本経済がたいへんになる」という疑問の声も聞かれます。税制や、税金の使われ方が知らされてない、と実感しています。

インボイス中止１００万のボイスアクションにも本気で取り組みました。黙っていては、中小零細企業は廃業を余儀なくされます。街自体が失われてしまい恐ろしいことになる。そんな危機感を募らせております。

インボイスは、この秋２度の学習会を予定しております。

皆さんと協力して若い人に運動を繋げていきたいと思っています。

「わかりよさ」の新パンフ 短期間で5千近く普及

大阪の会　藤本　正行さん

４月に泉北の会と、５月には吹田「千一・片山・山手の会」と、６月には「八尾の会」と合同で宣伝しました。コロナ感染第６波の１～３月の間は宣伝できずにいましたが、再開でき盛り上がりのある取り組みとなりました。

草の根の会の多くは、毎月欠かさず、原則として定時・定点での宣伝行動を続けています。「継続は力」と粘り強く続け、大きな力になっています。

ニュースは「会」の動きをリアルタイムで知ってもらうよう毎月発行しました。11月号より「インボイス」を６回シリーズで掲載し、反対・中止の運動の足掛かりにしました。

新パンフは、５月より短期間で４６９４冊を普及しました。常任世話人で手分けし、団体・個人に訪問と電話で普及協力を依頼しました。パンフの「質の良さ」「わかりよさ」から自信を持って薦められることが普及拡大につながりました。民青は１００部を活用して学習会など積極的に行っています。

方針に「世代交代」のことが提案され、もろ手を挙げて賛成です。この観点を常に持ち、未来に繋がる運動を進めていきたいと考えます。

減税公約の政党票が 自公を上回る

常任世話人　梅村さえこさん

参院選では埼玉選挙区候補として、「消費税を緊急に５％に、消費税は廃止を、インボイス中止」と公約に頑張りました。結果は残念でしたが、消費税減税を主張した政党の比例票は、増税推進の自民・公明の比例票を３５５万票上回ったことに確信を持ちたいと思います。消費税減税を求める世論は大きく、消費税をなくす会を大きくできる客観的情勢にあります。「３人よれば会」と会を気軽に広げていきたいと思います。

10月３日から臨時国会が始まりました。岸田政権の支持率は下がり、政治の空気は明らかに変わってきました。９月27日の国会前「国葬反対集会」では、市民と野党の共闘を再び大きくする流れを感じました。衆院には野党共闘で「消費税減税・インボイス中止」法案が提出され継続審議になっています。実現へ、草の根から声を上げていきましょう。

沖縄県知事選 ―市民と野党共闘の勝利

全国世話人
早坂　義郎さん

沖縄県知事選で「オール沖縄」の玉城デニー氏が、自公推薦候補を抑え圧勝しました。勝因は「岩盤のようだ」と形容される辺野古新基地反対の民意を再度示したことです。さらに「統一協会と政治家の癒着」、「安倍国葬への国民的な怒りの広がり」があり、オール沖縄、5党首が最後まで結束してたたかい「市民と野党の共闘」を示したことです。そして運動の中心を担いなくす会会員の民商・沖縄県連が仲間を増やし過去最高現勢を更新し「消費税5％減税」を前面にたたかったことです。

沖縄の会は「5％に戻せ」の看板を各地に建てて減税を訴え、民商とともにインボイス導入で1事業所当たり15万円超の負担になること等、署名、学習で知らせ、導入阻止へ業者団体との懇談、全自治体への要請運動を展開し、名護市、北谷町で陳情書採択、6市町村で継続審査を勝ち取りました。

会員・『ノー消費税』拡大を柱にすえて

神奈川の会
永沼　京美さん

会は9月12日、常任世話人会を開き、いっせい地方選挙にむけてなくす会の再建と強化を目指す新たな取り組みを検討しました。

いま19万8821人の名簿がありますが、高齢者が多く、活動していない所が多い状況です。街頭署名も横浜市内では保土ヶ谷区と旭区の2カ所だけです。若い世代、学生や非正規労働者、子育て世代こそが消費税に苦しめられていると思います。中小業者、高齢者、年金者も同じで、この方々が立ち上がらないと消費税はなくなりません。ところが、この人達は、自己責任論に追いやられ、アンケートでも「社会保障のために必要」と答えが返ってきます。

ここ数年、どうしたら世代継承できるか討議しています。その一環としてHPを立ち上げました。今新しい加入申込書を作成し、関係団体などに配っています。沖縄の玉城デニー知事に学び、LINEで会員拡大のツールにしてはと今立ち上げを検討しています。アイディアを出し合い、会員拡大と『ノー消費税』の拡大を柱に据え、本腰を入れたとりくみにしたいと思います。

みんなで任務を分担して

京都の会
横山　英二さん

事務局長の急死をうけ、5月に緊急の幹事会を開きましたが、後任が決まらず、当面は任務分担することを確認。毎月の宣伝と月1回の会議、ニュース発行、財政・会報担当などを決めました。8月は八幡市に19人、9月は中京区で14人が街頭宣伝を行いました。いろいろな団体に呼びかけ取り組むことが大切で、ここになくす会の役割があると思いました。

5％引き下げの署名は「食料支援」の中でもコーナーを設け、取り組んでいます。京田辺市でやった時には33人から署名が集まりました。「値上げで買い物にいくのが恐ろしい、医療費は上がるし、消費税を下げてほしい」と切実な声が上がっています。食料支援に参加している人なので、対話できればほとんどの人が署名をしてくれ、激励を受けます。若い人と対話し、納得すれば署名をしてもらえるこ

とがわかりました。会員・会報拡大も重視し、大阪のパンフ普及の経験からも学んで前進したいと思います。

減税・インボイス中止を地方選挙の争点に

岩手の会　関沢　淨さん

10月1日生協前で久しぶりに署名・宣伝行動し、15人が参加。41人もの署名があつまりました。「物価高で生活が苦しい」という反映かなと思います。

自治体の「インボイス中止の請願」は様々な成果を上げています。今日、岩手県に「インボイス制度中止」の請願をだしました。矢巾町では請願提出すると「よくわからないので、学習会をしよう」ということになり、民商の人が講師に行き、議会事務局の人がまとめをしたりして、継続審議になりました。盛岡市は総務委員会で採択されたが、本会議が16対20で否決された。矢巾町や盛岡市もあと少しなので、これをどうするかです。インボイスは多くの業者が不安に思っています。本会議で反対に回った議員に、業者団体や商店会などから声を上げていかなければと思います。私たちが動き、減税・インボイス中止の運動を進めて、来年の統一地方選挙の争点にしたいと思います。

討論のまとめ

前沢　淑子　事務局長

総会参加者は、会場に48人、オンライン39カ所87人の135人でした。14人が会場発言、文書発言が2人でどの発言も生き生きしたものでした。

総会では、はじめに大門実紀史前参議院議員を講師に「消費税減税、インボイス中止のたたかい」について学習。消費税導入33年、来年からインボイス制度が導入されようとしているいま、消費税がいかに暮らし破壊税で日本経済をダメにする税かを学び、浦野税理士の発言で「イ

第33回総会の成功を祝しメッセージを寄せていただいた団体・組合

全日本年金者組合／JMITU（日本金属製造情報通信労働組合）／全国生協労働組合連合会／全国生活と健康を守る連合会／全日本教職員組合／全国商工団体連合会／日本医療労働組合連合会／日本婦人団体連合会／日本民主青年同盟／全国労働組合総連合／全日本民主医療機関連合会／全日本建設交運一般労働組合／日本自治体労働組合総連合／主婦連合会／国土交通労働組合／新日本婦人の会中央本部／第67回日本母親大会実行委員会／婦人民主クラブ／全国保険医団体連合会

大門実紀史前参院議員の講演はYouTube（ユーチューブ）、DVDで活用できるよう準備しています。

好評！3万冊突破
いっせい地方選へ
増刷しました

頒価100円　B5判20頁

ンボイスは憲法および税制改革法に反して無効（憲法98条1項）である」ことを学びました。YouTubeでも流しますので活かしましょう。

どの発言も豊かで、困難な中で工夫した草の根の取り組みが生き生きと語られました。

沖縄知事選では野党が共同してたたかい勝利、継続した共同の取り組みが重要であることが強調されました。この教訓を活かし、地域から統一地方選挙の候補者に消費税減税、インボイス中止を要請し、選挙の争点に押し上げ実現させましょう。

「3人寄ればなくす会」と粘り強く活動をすすめていくことが大事です。そのためにシール投票など対話型の宣伝を行い、2022パンフも活用し、生まれた時から消費税があった若い世代と積極的に対話し、憲法違反の消費税のことを知らせましょう。

なくす会の運動への参加を呼びかけましょう。

総会で選出された常任世話人
（五十音順　敬称略）

天野　武（新）　梅村さえこ
上野美知代　大川　博
大嶋　秀夫　木口　力
きしの知子　手塚　守夫
西本　光男　服部　雅
林　幸二　藤原　紀嘉
前沢　淑子（事務局長）
松田　周平　向井　初江
吉田　孝喜（新）　渡辺　清志

退任された常任世話人

家子　寿さん　牧野由子さん

閉会のあいさつ

常任世話人　服部　雅さん

みなさまご苦労様でした。大門さんのお話は今後の活動の参考になり大きな勇気をもらえました。そして、どの発言も実践に裏付けられた草の根の活動が生き生きと語られました。今月から75歳以上の医療費窓口負担が倍に、物価が上がっている時に医療費は上げる、年金は下げるのに消費税は下げない。ここに国民の怒りが大きく盛り上がっています。こんな政治は変えよう！がうねりの様に広がっていることが討論の中で明らかになりました。

来年は統一地方選挙、減税勢力を前進させましょう！1987年売上税が導入されようとした時、デパートには抗議の垂れ幕、街頭宣伝では大きな怒りの声が寄せられました。

来年の統一地方選挙で5％減税、インボイス中止を勝ち取るために草の根からの宣伝、対話を広げて行くことです。まさに「なくす会」の出番です。ともに頑張りましょう！

退任のあいさつ

常任世話人　牧野　由子さん

消費税をなくす全国の会には2011年3月から参加しました。約12年間のなかで、事務局長を2年務める機会もあり、パンフレットや会報『ノー消費税』を作成することは日頃から学習することを心掛けることでした。消費税をなくす会の運動は、国税の在り方を考え、国を変えていきたいと思い・行動する人を増やしています。

今回、日本婦人団体連合会というジェンダー平等を実現できる社会をつくるために活動する組織を繋いでいくために常任世話人を退任することになりました。

同じく退任する神奈川の家子さんも任務変更に伴っています。退任しても消費税を廃止させる要求、政治を変える思いは同じです。ともにがんばりましょう。